



### 開会式・表彰式

はじめに、金沢市PTA協議会、大島会長が挨拶されました。本年度の金沢市PTA協議会では「大人として子どもたちの手本となれるよう常に謙虚に学び続けよう」をスローガンに活動しています。そのため、情報交換や研修会の場を通じて資質向上に努めています。研究指定発表会は学びの場のひとつであることを語りかけました。

表彰式も行われ、功労のあった団体と個人に、金沢市長、教育長から感謝状が手渡されました。



### アトラクション

研究発表に先立って、5年生児童による合唱の発表がありました。先生の指揮にあわせ、身体全部を使っての合唱は、聞く人を魅了する素晴らしいものでした。照れもてらいもなく、歌う楽しさを全身で表現している姿に、とても素直に成長している子どもたちの様子を見ることができました。

### 研究発表

続いて、「子供達がつなぐ地域の絆」と題して、研究発表がありました。杜の里小学校は、開校5年目の新しい学校です。従来の枠組みにとらわれなくて、新しい試みにチャレンジしています。

例えばそのひとつに、「ビデオ総会」というユニークな試みがあります。授業参観の場を利用して、校内放送で総会を行うというものです。出席者が少ないという悩みを解決するための試みです。

また、新設校なるがゆえに、地域住民や保護者同士の結びつきが弱いという悩みがあります。その解決方法として、「杜の里リニック」という取り組みも発表されました。いわゆる社会体育大会をPTAが中心となって実施にこぎつけたというものです。開校前の二つの小学校が、そのような取り組みを通じて、次第に一体となっていく経過が報告されました。今後少子化に伴い、学校の統合が進むことが予想されますが、ひとつの示唆を与える報告でした。

この日は他に金沢市指定の研究発表として、野田中学校PTAの発表もありました。



### 講評

両校の取り組みに対し、石川県教育委員会生涯学習課の清水課長補佐が講評を述べられました。

PTA活動を通して「学校が仲間のいる場所」となり、「自分育ちのできる機会」を提供してくれていると述べられ、多くの参加者がうなずいていました。

また、「当たり前前継続」というキーワードで、普通の活動を地道に継続することで得られる「当たり前前の価値」の大切さも訴えられたのがとても心に残りました。

